遊園地の入園者情報を管理する関係データベース 問3

【解答】

aーオ, bーエ [設問1]

「設問2] c-イ

[設問3] dーウ

[設問4] エ

【解説】

遊園地の入園者情報を管理する関係データベースを題材にした問題である。設問 1は、再設計(入園者表に退園時刻、利用表の追加など)したことによって、新たに可 能となった事項についての記述の空欄穴埋め、設問2はアトラクションごとの延べ利 用者数を表示する SQL 文の SELECT 句の空欄穴埋め,設問 3 は入園券でアトラクシ ョンを利用した入園者のうち、退園時の精算において 2,000 円以上を支払った入園者 について、精算額が多い入園者から降順に、入園者番号と精算額を表示する SQL 文 の WHERE 句の空欄穴埋め,設問 4 は会員情報を格納する会員表を作成し,入園者 表に会員番号を格納する項目を追加した後に、設問の SQL 文で抽出できる会員につ いて正しい答えを選ぶ。

(H28 春·FE 午後間 3)

設問 1 は新たに追加された項目と利用表などを見ればすぐに分かるだろう。 設問 2, 3はSQLのグループ化と集合関数の初歩的知識があれば易しい。設問4は丁寧に選択 肢を見ていく必要はあるが難しくはない。

[設問1]

再設計後のデータ構造に関する設問文の記述中の空欄 a, b に入れる答えを選ぶ。

- ・空欄 a: 図2によると入園者表に退園時刻の項目を追加したのであるから、最初か らある入園時刻との差をとれば滞在時間が分かるので、(オ)の「入園者の滞 在時間」が入る。
- ・空欄 b: 図 2 の利用表を見ると入園者番号が「00025987」,「00025992」と二つあ り、入園者がどのアトラクションを利用したか、その利用時刻とともに分かる ようになっている。したがって、(エ)の「入園者のアトラクション利用状況」 が入る。
 - ア:図1,2の表には「アトラクションの待ち時間」に関する情報はない。
 - イ:図1,2の表には「休園日」に関する情報はない。
 - ウ:入園者数は、図1の入園者表の行数をカウントすれば分かるので、該当し

「設問2]

アトラクションごとの延べ利用者数を表示する SQL 文の SELECT 句の空欄 c に入

- ア:AVG(利用表.アトラクション番号)……アトラクション番号ごとにグループ化され たレコード間で、アトラクション番号の(算術)平均をとってもアトラクション番 ` 号が分かるだけであり、該当しない。
- イ: COUNT(*)……利用表をアトラクション番号ごとにグループ化し, グループごとの 件数をカウントすることによって各アトラクションの利用回数、言い換えると延べ 利用者数を求めることができるので、正解である。
- ウ:MAX(利用表.アトラクション番号)……アトラクション番号ごとにグループ化され たレコード間で、アトラクション番号の最大値をとってもアトラクション番号が分 かるだけであり、該当しない。
- エ:SUM(利用表.アトラクション番号)……アトラクション番号ごとにグループ化され たレコード間で、アトラクション番号の合計をとってもここでは意味がなく、該当 しない。

SELECT 利用表.アトラクション番号,アトラクション表.アトラクション名,

(イ): COUNT(*)

FROM 利用表,アトラクション表

WHERE 利用表.アトラクション番号 = アトラクション表.アトラクション番号 GROUP BY 利用表.アトラクション番号,アトラクション表.アトラクション名

入園券でアトラクションを利用した入園者のうち、退園時の精算において 2,000 円 以上を支払った入園者について、精算額が多い入園者から降順に、入園者番号と精算 額を表示する SQL 文の WHERE 句の空欄 d に入れる答えを選ぶ。

ア: 入園者表.券種 = '01' AND

アトラクション表.料金 >= 2000 …… ①

GROUP BY 利用表.アトラクション番号 …… ②

- ① アトラクション表のアトラクションごとの料金となり、退園時の精算料 金とはならない。
- ② 利用表のアトラクション番号でグループ化しても意味はない。

2,000 円以上のアトラクションを利用した入園者をアトラクションごとに表示し ようとするが、入園者表の入園者番号が集計項目ではなくアトラクションごとには 出力できずに SQL エラーとなる。

イ: 入園者表.券種 = '01'

GROUP BY 入園者表.入園者番号 …… ①

HAVING MAX(アトラクション表.料金) >= 2000 …… ②

- ① 入園者番号ごとにグループ化するのは正しい。
- ② 入園者が利用したアトラクション表の最大利用料金となり、退園時の精 算料金とはならない。

2,000 円に満たないアトラクションの利用を重ねて精算額が 2,000 円を超える入 闌者が表示されない。

ウ: 入園者表.券種 = '01'

GROUP BY 入園者表.入園者番号 …… ①

HAVING SUM(アトラクション表.料金) >= 2000 …… ②

- ① 入園者番号ごとにグループ化するのは正しい。
- ② 入園者が利用したアトラクション表の合計料金が 2,000 円以上となり、 退園時の精算料金となる。

.正解である。

工: 入園者表.券種 = '01'

GROUP BY 利用表.アトラクション番号 …… ①

HAVING SUM(アトラクション表.料金) >= 2000 ····· ②

- ① 利用表のアトラクション番号でグループ化しても意味はない。
- ② 利用表のアトラクション番号でグループ化しており、グループ化の条件 で合計に意味はない。

合計利用料金が 2,000 円以上のアトラクションを利用した入園者をアトラクショ ンごとに表示しようとするが、入園者表の入園者番号が集計項目ではなくアトラク ションごとには出力できずに SQL エラーとなる。

SELECT 入園者表.入園者番号, SUM(アトラクション表.料金) AS 支払金額

FROM 入園者表, 利用表, アトラクション表

WHERE 入園者表.入園者番号 = 利用表.入園者番号 AND 利用表.アトラクション番号 = アトラクション表.アトラクション番号 AND

(ウ) 入園者表.券種 = '01' GROUP BY 入園者表.入園者番号 HAVING SUM(アトラクション表.料金) >= 2000

ORDER BY 支払金額 DESC

[設問4]

会員情報を格納する会員表を作成し、入園者表に会員番号を格納する項目を追加し た後に、設問の SQL 文で抽出できる会員について正しい答えを選ぶ。

SELECT 会員表.会員番号,会員表.氏名 …… ①

FROM 会員表,入園者表 …… ②

WHERE 会員表.会員番号 = 入園者表.会員番号 …… ③

GROUP BY 会員表.会員番号,会員表.氏名 …… ④

HAVING MAX(入園者表.入園日) < '20160101' ······ ⑤

- ① 会員表の会員番号と氏名を表示
- ② 会員表と入園者表を結合対象とする。
- ③ 会員番号で結合
- ④ 会員表の会員番号でグループ化しているが、その上の WHERE 句に「会員 表.会員番号 = 入園者表.会員番号」の会員表と入園者表の結合条件があ るので、GROUP BY 句の指定は、「入園者表.会員番号、会員表.氏名」とし ても等価である。なお、GROUP BY 句の会員表.氏名は、SELECT 句に会 員表.氏名が指定されているので必要であるが、情報処理技術者試験が準 拠する標準 SQL (SQL2003 から) では必須ではなく,GROUP BY 句には会 員表.会員番号(又は入園者表.会員番号)だけでもよい。新しい GROUP BY 句の仕様に準拠した問題はまだ出題されていないので、考慮する必要はな
- ⑤ 入園者表を会員番号でグループ化して、その入園者(会員)の最大の入 園日(最近の入園日)が2016年の1月1日より小さいという条件は「2016 年より前に入園しただけ」、逆に言うと「2016年以降は1回も入園してい ない」という条件である。したがって、(エ)が正解である。次表の例では、 会員番号=000110 の会員が 2016 年以降に 1 回も入園していないので、抽 出されることになる。

7 周老丰 (一如少败)

人園者表 (一部			T-'	1
入園者番号	会員番号		入園日	
00028707	000108		20160218	
00028706	000108		20160201	
00028705	000109		20160115	COOLE DI A ELE
00028704	000109		20151225	GROUP BY 会員番
00028703	000110		20151203	<u> </u>
00028702	000110		20151103	
00028701	_		20151010	結合とグループ化 対象にならない
	MAX(入園	者表.入國	· 園日)	1 とまだらのらい

参考までに、設問の SQL 文(結合とグループ化)と同じ結果が得られる別の SQL 文(副問合せ)と SQL 文(相関副問合せ)の例を示す。結合を使う SQL 文は多くの 場合,副問合せ,又は相関副問合せで記述できる。

副問合せの例

SELECT 会員表.会員番号,会員表.氏名

FROM 会員表

WHERE 会員表.会員番号 NOT IN(SELECT 入園者表.会員番号 FROM 入園者表

WHERE 入園者表.入園日 >= '20160101')

・相関副問合せの例

SELECT 会員表.会員番号,会員表.氏名

FROM 会員表

WHERE NOT EXISTS (SELECT *

FROM 入闌者表

WHERE 入園者表.会員番号 = 会員表.会員番号

AND 入園者表.入園日 >= '20160101')